

リバー産業に感謝状

大阪市へ5千万円寄付

大阪市は14日、市に約5千万円相当の寄付をした不動産開発業のリバー産業(同市)に感謝状を贈った。市役所で贈呈式を行い、横山英幸市長(写真左)が河啓一社長(同右)に渡した。

同社は、御堂筋イルミネーションで大阪の街並みを魅力的にしてみたいと、「大阪・光の饗宴の魅力向上」への2500万円、恵まれない子供たちに



役立ててもらいたいと、「こどもの貧困対策の推進」への1500万円に加え、子供たちに配布してほしいと、2025年大阪・関西万博の入場チケット7561枚(約1千万円相当)を託した。

さらに、能登半島地震の被災地支援として府への1千万円と合わせ、府と同市に計約6千万円相当を寄付している。

河社長は、創業60周年を迎えたが、能登半島地震の被害をみて記念行事を行わず、被災者や恵まれない子供たちの支援に充てることにしたと説明。万博については「一人でも多くの子供に入場してもらいたい」と話した。

横山市長は「毎年、多額の寄付をいただいている。課題を抱えている子供たちや大阪のまちづくりに生かしたい」と感謝を述べた。